

－日光プロジェクト感想－

国際学部国際学科 2年 金田 日菜子

今回のプロジェクトを通して日光は自然が豊かであり、景観が美しいため、本当に沢山の観光資源がある場所だということを知りました。お店の方々も私たちのインタビューに丁寧に答えてくださって。とても親切な人が多かったです。日光市には課題はあるものの、沢山の良い点があり。問題を解決する事でより魅力的な場所になっていくのではないかと感じました。

日光プロジェクトは留学生が主体となるものですが、日本人学生である私も調査をする中で大変多くの事を学びました。そのなかで主に感じた事は、留学生と共に日光の良さや問題を共有することの重要性です。田母沢御用邸に行った際私や他の日本人観光客はあまり見ていなかった展示物や庭を留学生の方は熱心に見ていました。やはり海外の方だからこそ、気づくことができる日本文化の面白さや新鮮さがあると思いました。また留学生の方と一緒に調査したからこそ、問題点を実感する事が出来ると思います。日光市の問題の例として、「電子マネーやクレジットカードを利用できるお店が少ない」という事がありますが、実際に私たちのグループの中でも日常生活ではほとんど電子マネーに頼っており、日光のような環境であると不便さを感じるという留学生がいました。このように、発見した問題点をとても身近に感じる事ができ、外国人の目線から調査することが出来ました。そのため、外国人と一緒に調査をし、普段とは違った目線から物事を見る事は問題を解決する上でとても重要なことであると改めて実感しました。

また、日光プロジェクトは日光の問題点や改善点だけでなく、日光の新たな魅力に気づくことが出来る機会だと思っています。例えば、インタビューを行う中で、日光市の方々の心配りに気が付きました。旅館の従業員の方に観光業を行うにあたって意識している事を質問した際、次のようにおっしゃってくれました。「お客さんに質問をされた時すぐ答える事ができるように、旅館周辺にはどのようなものがあるのか実際に現地へ行って確認します。また、お客さんに『また来たい』と思ってもらえるようにする事を一番心掛けています」このインタビューから、日光で観光業やサービス業を営む方々は自分たちの気づかないところで沢山の心配りをしていると思いました。日光では景観や食べ物だけでなく、従業員の方々の魅力もあると感じます。

以上のように、私は日光プロジェクトを通して様々な事を発見し、学びました。このような機会はあまりないため、大変貴重であり、プロジェクトで学んだ事を今後何かの機会で生かしていければと思います。

